

埋設型傾斜計  
DC-□B  
取扱説明書

株式会社 東横エルメス  
東亞エルメス株式会社

### 1. 概要

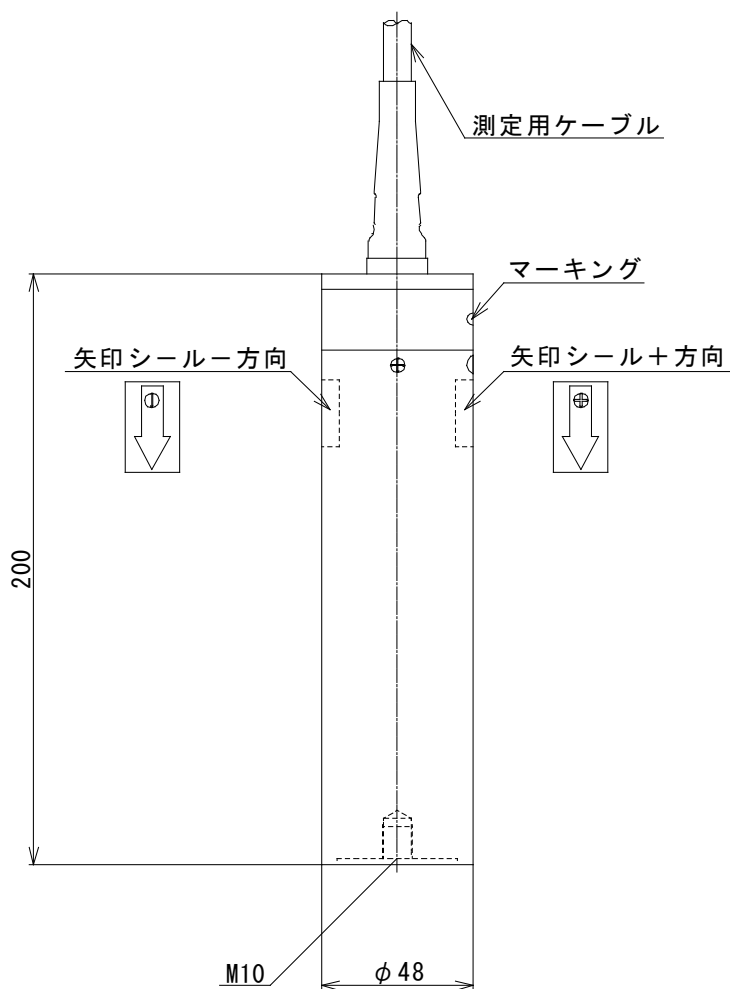
本器は、主として山留め計測の壁の変形測定に使用するための計器です。

### 2. 仕様

型式	DC-120B	DC-300B
測定範囲	±120 分	±300 分
定格出力 (R0)	±100 mV	
非直線性	±1.0 %R0 以内	
ヒステリシス	±1.0 %R0 以内	
許容過負荷	120%	
許容温度範囲	-10~+40 °C	
定格使用電流	50 mA	
許容耐水圧	0.8 MPa	
寸法	φ48×H200 mm	
質量	約 1.8 kg	
ケーブル	S4-5 (0.5mm <sup>2</sup> 4心、シングルシース) 先端半田処理	
ケーブル標準長	1 m	

### 3. 構造

傾斜計の外観を下図に示します。



## 4. 取付方法

### 4.1 準備

埋設傾斜計を設置する位置を確認します。

ボーリング削孔して設置する場合は、φ86 以上となります。最深度の傾斜計位置より 30cm 以上の余掘りを行って下さい。

SMW 等の芯材に設置する場合は、ガイトパイプとして予め□75 または□100 鋼パイプを溶接で設置しておき、芯材を建て込みます。この時に、建て込んだ芯材の番号は必ずメモを取っておいて下さい。

### 4.2 取付

- (1) 設置する上に、三叉等のヤグラを組んで下さい。
- (2) 傾斜計を設置しやすくするため、予め傾斜計、接続金具および中間パイプを 1 台分ずつ接続しておいて下さい。
- (3) ヤグラからロープで吊りあげながら、順次、所定の傾斜計を接続しながら孔やガイトパイプ内に建て込んでいきます。
- (4) 上記の作業中、数台ずつの間隔で、ヤグラに吊るした状態（計器の鉛直状態）で測定値をチェックし、計器が測定値範囲にあるかどうかの確認を行って下さい。  
万が一にも範囲より外れていたり、兆候がある時には、作業を中止して再ボーリングや新規芯材を確保して下さい。
- (5) 全数を設置後、チェック測定を行って下さい。
- (6) 測定値が良好ならば、CBモルタルやセメントミルクの充填を行って下さい。
- (7) ケーブルを防護しながら受信器まで配線して下さい。
- (8) 充填材および傾斜計の値が安定した頃を初期値として下さい。

### 4.3 注意事項

- (1) 計測の目的と掘削工程の都合により、短時間で取付けを完了させる必要がありますので、取付材料などの準備と段取りを十分にして下さい。
- (2) ケーブルの接続方法は、入力⊕が赤色、入力⊖が黒色、出力⊕が白色、出力⊖が緑色としていますので、当社以外の指示計器を使用する場合は、注意して下さい。
- (3) 計器の変換部には振り子機構を用いているために、あまり横倒したり衝撃を与えないように注意して下さい。

その他、ご不明な点がございましたら直接当社の製造部まで、ご連絡下さい。

TEL 046-233-7715 FAX 046-233-7878

## 5. 計算方法

### (1) 計算式

$$D = (M - I) \times f$$

D : 傾斜角 [分]  
M : 測定値 [mv]  
I : 初期値 [mv]  
f : 校正係数 [分/mv]

### (2) 計算例

測定値……………M : 25.0 [mv]  
初期値……………I : 5.0 [mv]  
校正係数……………f : 1.2 [分/mv]

$$D = (25.0 - 5.0) \times 1.2 \\ = 24$$

したがって傾斜角は 24 分となります。

設置例

